

平成20年度

地域懇談会

市内30カ所で開催

多くのご意見やご提言をいただきました

●サルやシカによる農作物被害がひどい。みかんが荒廃し、農地が荒地になっている。

●平成20年度「鳥獣害防止対策協議会」が主体になって、地域ぐるみの取り組みを行います。サル追い払い犬育成の地域説明会を実施し取り組みでいくので、被害対策への参加をお願いします。（サルの出没範囲が広がっています。パトロールの実施、連絡網体制の整備、猟友会への協体制の強化などに取り組んでいます。）

●生活や暮らしに関すること

●半島部に流れ着くごみや流木の問題が深刻で、台風季節には片付けが追いつかない状態です。対策を考えてください。

●白杵土木事務所をはじめ、県や津久見市の関係機関で処理対策の協議会を設置して取り組んでいます。（国のレベルでも、漂着ごみ処理をめぐる国と自治体の責務や、ごみ処理を行う自治体への財政上の配慮、ごみ発生抑制の啓発をはじめとした基本的施策などの検討に入っています。）

●釣り人のマナーが悪くてトイレも汚し放題。地区民は大変迷惑しています。

●これまでルールとマナーの厳守を促す啓発看板を設置してきました。地元の方や、遊漁者との話し合いを行うって連携しながら取り組んでいきます。

●少子化、人口減対策として、津久見

市は何か取り組んでいるのか。

●乳幼児医療に対する助成など津久見市は早くから取り組んでいます。出生率は伸び悩んでいます。雇用の場などの創出による定住対策と合わせて考えていきます。

●地震や津波が発生した場合の避難場所や経路について

●避難場所等については、風水害の場合、地震の場合、津波の場合の一時避難所および収容避難所に分けて一覧表を作成し、これまで防災マップとして各家庭に配布したほか、ホームページでも公表しています。今後、早い時期に新しい一覧表を各家庭へ配布する予定をしています。

●地上デジタル放送を受信できない場合について

●地デジ移行に伴い、難視聴地区ができてきますので、共同アンテナ設置等についての説明会等を実施します。

●交通安全のための標識や通行規制について

●市の交通担当から警察署、交通安全協会等に連絡して対応しました。

●その他にも以下のようなテーマで各種の意見、提案をいただきました。市政運営の参考にさせていただきます。活力あるまちづくりに取り組んで参ります。

●行財政改革に関すること

●行財政改革が厳しいのはわかるが、住民サービスを維持し、縮小低下に

ならないようにしてほしい。

●行革の取り組みは評価できるが、民間から見れば職員の給与はまだ高いと思う。

●市町村合併に関すること

●市民は合併を希望しているのか。メリット、デメリットが見えない。

●合併して良くなったという話は聞かない。

●道路や街づくりに関すること

●日見トンネルが開通して日代、四浦が大変便利になった。

●トンネル内の照明や街灯の明るさについて各地区からの要望。

●津久見の商店街や観光に対する対策は



8月25日 保戸島集会所

●鳥獣害被害に関すること

●イノシシが里や家の中に入ってきて、畑や野菜などを荒らしている。

津久見市では、行政と市民が一体となった協働のまちづくりを推進するため、平成16年度から地域懇談会を開催しています。

16年度は15会場、17年度は10会場、18年度は27会場、19年度は13会場、5年目の20年度は30会場で725人の方にご参加いただきました。

懇談会の中で市民の皆様からいただきましたおもしろい意見、提言などを紹介いたします。

●イノシシが里や家の中に入ってきて、畑や野菜などを荒らしている。